

保育社の原色図鑑 62

原色日本大型甲殻類図鑑(I)

九州大学名誉教授 三宅貞祥 著
九州産業大学教授

**JAPANESE CRUSTACEAN DECAPODS AND
STOMATOPODS IN COLOR**

Vol. I

Macrura, Anomura and Stomatopoda

BY

Dr. Sadayoshi Miyake

保育社

HOIKUSHA PUBLISHING CO., LTD.

17-13, 1-chome, Uemachi, Higashi-ku, Osaka, 540 Japan



1. ムギワラエビ



2. クダヤギクモエビ



3. ホクロツノコシオリエビ



4. ヨロイシンカイコシオリエビ

1. ムギワラエビ *Chirostylus dolichopus* Ortmann, 1892

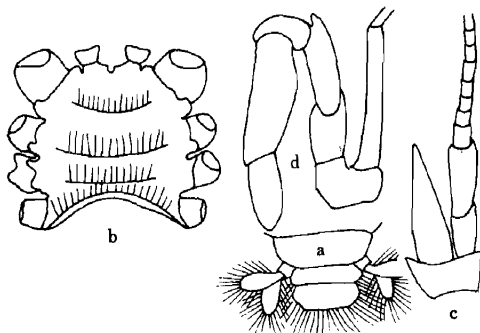
クモエビ科

甲長 7 mm。甲幅 5.3 mm。甲背は左右につよく湾曲して花びん型、平滑で光沢がある。額角は鋭棘状、またはこれを欠くことがある。額棘の両側に眼上棘がある。眼孔後縁に 1 短棘があり、前縁外角に各 1 鋭棘がある。前鰓域には頸溝の直後に 1 鋭棘があり、つづいて 3 小棘が側縁に平行して列生する。眼柄はやや太く、第 1 触角柄より短く、眼は大きい。第 2 触角は外肢がなく、鞭は柄より短くて数節からなり、柄の末節は最長で、先端に 1 突起がある。第 1 触角の基節末端外角に 2~3 副棘がある。第 1~第 4 脚は細長く、やや扁平で、左右相称、各節に多数の棘が列生する。第 1 脚は鉗脚となり、後 3 対よりやや太く、最長で甲長の 11~12 倍の長さがある。長節は最長で甲長の 5 倍の長さで、上下縁、上縁寄りの背面に棘列がある。掌部は腕節とほぼ等長、指部は掌部の $\frac{1}{2}$ の長さで、多数の棘が上下縁に列生する。歩脚 3 対は鉗脚よりやや短くて細く、上下縁に棘列がある。前節後縁前半部には長棘が列生し、先端のものほど長くなる。指節は短くて後縁に 7~8 棘がある。腹部は各節に大形の葉状の腹甲があり、甲幅より幅広くみえる。腹肢は 2 対あり、雄では生殖肢となる。イボイソバナなどに付着共棲し、水深 50~70 m に生息。浦賀水道・相模湾（東部、富戸海中公園）・南紀（串本）・日向灘（細島沖）に分布。抱卵期 12~1 月。大形卵 (1.5×1.8 mm)、少数 (15~21 個) を産む。真正カニ（ミズヒキガニ）に誤認されるが、生時歩脚長節末端の黒白斑紋がことさら目につきやすい。南紀串本産雌 No. 1172。

2. クダヤギクモエビ *Uroptychus kudayagi* Miyake, 1961

クモエビ科

甲長 6.5 mm。甲は卵形、背面は平滑で光沢がある。額角は扁平な鋭角三角形、先端は第 1 触角柄の末端に達する。甲側縁の前方 $\frac{1}{2}$ のところに 1 鋭歯がある。鉗脚は甲長（額角を除く）の 5 倍（雄）または 4 倍（雌）の長さがあり、左右ほぼ等長。坐節内縁に 1 棘ある。長節から先は多少扁平で、平滑無棘、長軟毛束におおわれる。長節と腕節は等長で、鉗部の $\frac{1}{2}$ の長さ。掌部は指節の 2 倍より長く、指部咬合縁に各 1~2 歯があるが、雌雄ともに指間にすきまがない。歩脚 3 対は甲長の 2.3 倍の長さで、鉗脚と同じ長軟毛束が列生する。指節後縁に 4 棘があるが、他節に棘はない。腹部の尾節は前後の 2 葉に分かれ、後葉がやや大きい。触角棘は扁平で先がとがり、額角の先端に達する。水深 30~90 m に生息し、アカバナクダヤギに共棲する。相模湾（基産地）・南紀串本・天草灘に分布。抱卵期 5~7 月。大形卵（径 1.0 mm）、少数 8~24 個を産む。串本産雄 No. 852。



クダヤギクモエビ

a. 第 6 腹節と尾節, b. 胸部の腹面 (腹甲),
c. 第 2 触角柄と触角棘, d. 第 3 顎脚。
(Miyake, 1961 より)。

第 48 図版

3. ホクロツノコシオリエビ *Eumunida funambulus* Gordon, 1930

クモエビ科

甲長 48 mm。甲幅は甲長と等長。甲背は左右に湾曲し、正中線上で数えて13条の横しわがあり、短毛が粗生するが、肉眼では平滑で光沢があるようにみえる。頸溝・心域溝は明らかにある。額棘は甲長のほぼ $\frac{1}{3}$ の長さで、先端はやや上に向く。額棘の両側に各2個の長い側棘があり、側棘の直後に前側縁に平行して3小棘がある。甲側縁に7棘が列生し、後方ほど短くなる。鉗脚は細長く、雄では3.3倍、雌では2.8倍の長さ、長節は前節より2倍長く、内縁に1条、背面外縁寄りに2条の長棘が列生する。鉗部に棘がなく、掌部腹側末端、指部の根元に短毛の密生するくぼみがホクロ状を呈する。掌部は指部より2倍長く、指部咬合面に微歯が列生し、不動指に5~6小歯があるが、指間にすきまはない。歩脚3対は側扁し、長節は前節よりやや長く、長節・腕節の前縁に長棘が列生する。指部は短小で、下縁に8小棘が列生する。第3顎脚坐節の内縁に11~14歯からなるよく発達した櫛状歯があるが、副歯はなく、腹甲前縁には中央にU字状のくぼみにより両側に2突起がある。鉗脚の腹甲側縁に各1棘がある。尾節は側縁に深い切れ込みがあり、後葉は前葉よりやや幅が広く、末縁中央に浅いくぼみがある。尾肢は尾節よりやや長く、外肢は内肢より細くてわずかに長い。わが国近海では水深120~520 mに生息。日向灘・大東島東方；フィリピン諸島・インドネシア沿岸・アデン湾に分布。大東島東方，28°04'N，134°20'E，水深520 m（九州パラオ海嶺）産雄 No. 1165。

4. ヨロイシンカイコシオリエビ *Munidopsis rostrata* (A. Milne Edwards, 1880)

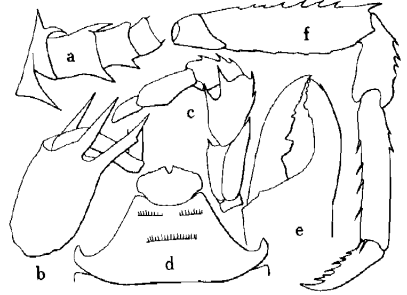
コシオリエビ科

甲長 29 mm。甲幅 25 mm。甲は方形で左右に湾曲し、甲背に鋭顆粒が密生してヨロイを想わせる。額角は棘状で、上向きに突起して先端は第1触角柄の末節基端に達する。胃域に3棘があり、前の1対は小さく、後の1棘は強大でつよく側扁して鋭歯となる。心域の中央に大棘1個、前側角に強大な長棘があり、すぐ後にやや短い1棘が甲側縁にある。頸溝中央部、つまり胃域と心域との境に幅広い平滑な深溝がある。鉗脚は左右相称、甲長の1.38倍の長さがあり、各節の背側に顆粒が密生する。長節・腕節の末縁内側に各1棘がある。指部は掌部より短く、咬合縁に小歯が列生し、指間にすきまがない。歩脚3対はやや側扁し顆粒が密生する。第1対は指節の長さだけ鉗脚より長い。腹部は各節の背面に顆粒が密生する。第2~第4節の各節に深い横溝があって前後に分かれ、前半部正中に強大な各1棘がある。第3顎脚の長節内縁に等長の2棘がある。水深1,200~3,430 mに生息する深海性コスモポリタン種。大東島東方；スリランカ・マレーシア・大西洋両沿岸・太平洋東沿岸に分布。大東島東方（28°04'N，134°20'E）九州パラオ海嶺産，水深520 m，本種としては最も浅い生息場所。抱卵雌，1978年2月20日採集，No. 1166。日本近海新記録。

1. トウヨウコシオリエビ *Galathea orientalis* Stimpson, 1858

コシオリエビ科

甲長 4.5 mm。甲背に約10条の横しわがあり、前縁に短毛が密生する。胃域前縁に1対の棘があるが、他域に棘はない。額角は甲長のほぼ $\frac{1}{2}$ の長さで、側縁に各3歯がある。眼上棘1個がある。甲側縁に7棘があり、第2棘は小さい。第3顎脚腕節の外縁に3棘、長節内縁に2棘、外縁に2棘がある。第1脚（鉗脚）は太く長くて、表面に多数の棘毛があり、側縁には大棘列生し、指部の咬合縁に1~2歯が発達し、指間のすきまは個体に変異があり、雄では雌よりも大きなすきまがある。第2~第4脚の長節の前縁に9~11棘、腕節の上縁、前節上縁基部に数棘がある。干潮線~水深200 mに生息。函館~九州の両沿岸・小笠原諸島；ホンコン沿岸に分布。抱卵期6~8月、12~3月。コシオリエビ属のゾエアは4期または5期で腹肢は最終期に現れるのがふつうで、まれに最終期の一つ前の期に原始的な腹肢が現れる (Gore, 1979)。南紀南部水深45 m産、抱卵雌 No. 681。



トウヨウコシオリエビ

- a. 第2触角柄, b. 第1触角基節,
c. 第3顎脚内肢, d. 腹甲第1・第2節,
e. 鉗脚指部(雄), f. 右側第1歩脚,
(三宅原図)。

2. フタホシコシオリエビ *Galathea bimaculata* Miyake & Baba, 1966

コシオリエビ科

甲長 4.5 mm。甲背の横しわはやや浅く不鮮明で、前縁に細毛が列生する。胃域に棘がない。額角側縁に4歯があり、第4歯（最後歯）は小さい。甲側縁に6棘が列生し、第1棘は眼孔外縁にあり第2棘より小さい。第3棘は後方3棘より小さく、これを欠くものもある。鉗脚は左右ほぼ同長、各節に棘列があり、剛毛が粗生する。長節・腕節には内外縁、背面正中に各1条の棘列があり、内外縁の棘は大きい。掌部は指節より長く、内外縁に各1条、背面に2条の棘列があり、背棘が小さい。指部咬合縁の基部に各1~2棘があり、指間にわずかのすきまがあり、不動指外縁には掌部よりつづく棘列がある。歩脚3対は各節に棘列があり、剛毛が粗生する。長節前縁、腕節の前縁と背側、前節前縁基部に各1棘列があり、前節・指節の後縁に小棘が列生する。第1触角基部の前縁に3長棘、第2触角柄の第1~第3節上縁に各1棘がある。第3顎脚長節の内縁に2棘があり、後方の大棘は中央にある。サンゴ礁原の枝状サンゴの中に生息。奄美大島・沖縄島・久米島・石垣島に分布。抱卵期7~8月。石垣島大浜産雄 No. 271。

3. ケブカコシオリエビ *Galathea pubescens* Stimpson, 1858

コシオリエビ科

甲長 7 mm。甲背にはトウヨウコシオリエビよりも多数の横しわがあり、その前縁に長短毛が密生する。胃域に6~10対、前鰓域に6~12対の棘のほか数対の小棘がある。額角は細長く、側縁に3歯、その基部に眼上棘1個がある。甲側縁に8棘、眼孔後縁に2~3

第 49 図版

個の小棘がある。第 1 触角の基節に 2 棘, 第 3 顎脚の長節内縁に 3 棘, 外縁に 2 棘がある。鉗脚は甲長の 5 倍の長さがあり, 円柱状で表面に散在する棘は前種よりも多く, 指部は掌部よりも短い。第 2~第 4 脚は長毛が密生し, 長節の前縁に 7~8 棘がある。指節後縁に 6 小棘が列生し, 先になるほど大きい。水深 45~200 m の砂底, 砂泥底に生息し, エビ漕網・底引き網にかかって採集される。函館・浦賀水道・相模湾・南紀・土佐湾・奄美大島; 東シナ海・オーストラリア西部沿岸に分布。抱卵期 3~5 月。南紀南部水深 45 m 産雌 No. 682。

4. チュウコシオリエビ *Munida japonica* Stimpson, 1858 コシオリエビ科

甲長 15 mm。額角は第 1 触角柄の末端に達し, 眼上棘は眼柄の中ほどにとどく。甲側縁に 7~8 棘, 胃域の前縁に左右 6~7 対の小棘が 1 列にならび, 胃域の正中に 1 棘, その両側に各 1 棘, 前鰓域に 1 棘がある。第 3 顎脚の長節内縁に 3 棘がある。鉗脚は太く長くて, 雄では甲長の 4 倍, 雌では 3 倍の長さがあり, 多数の棘毛におおわれる。第 2~第 4 脚は長毛長棘が発達し, 長節上縁に 7~8 棘, 下縁に 3 棘, 腕節上縁に 3 棘, 前節下縁に 10~11 棘, 指節下縁に 7~8 棘が列生する。水深 30~500 m に生息。津軽海峡~九州の両沿岸・小笠原諸島; スリランカ・紅海沿岸に分布。抱卵期 6~7 月, 10 月。本属のゾエア幼生は 4 期または 5 期。腹肢は最終期に現れる (Gore, 1979)。鹿児島県甑島東方水深 300 m 産雄 No. 593。

5. ヒゲナガチュウコシオリエビ *Munida incerta* Henderson, 1888 コシオリエビ科

甲長 22 mm。額棘は細長く, 第 1 触角柄末節の基端よりわずかに長い。眼上棘は額棘の $\frac{1}{2}$ より長く, 眼の先端にとどく。眼上棘の直後に 1 対の棘がある。甲背は左右にわずかに湾曲し, 頸溝は明らかで, 心鰓溝は浅くて明らかでない。各域に多数の横縞があり, 前縁に短毛が密生する。甲側縁に 5 棘が列生し, 第 1 棘は長くて前側角棘となる。鰓域上に顕著な 3 棘が心鰓溝にそって列生する。第 1 触角柄第 1 節の外側棘は細長く, 前半やや内方に傾き, 額棘と等長。第 2 触角第 2 節の内側棘は鋭く突起して眼の先端に達する。鉗脚は左右相称で, 甲長の 3.8 倍の長さがあり, 長節・腕節・掌部はほぼ四角柱状をなし, 内側の 2 稜, 腹面の 1 稜に鋭棘が列生する。指部は掌部と等長で, 咬合縁に微歯が列生, 不動指にはなお 4~5 小歯が粗生し, 指間にすきまはない。歩脚 3 対は側扁し, 長節の上下縁および腕節の上縁に棘があり, なお腕節上縁にのみ長毛が列生する。指節の前節の $\frac{1}{2}$ よりすこし長く, 上縁に長毛が列生する。第 3 顎脚腕節の内縁中央に 1 鋭棘, 長節内縁末端に同大の 1 鋭棘, 腹甲の前縁中央には浅いくぼみがあり, 前縁は左右ともに丸い。水深 200~450 m に生息。駿河湾・熊野灘・土佐湾; フィリピン諸島・アフリカ東部沿岸に分布。抱卵期 2~4 月, 10 月。熊野灘沖水深 200~300 m 産抱卵雌 No. 1129。



1. トウヨウコシオリエビ



2. フタホシコシオリエビ



3. ケブカコシオリエビ



4. チュウコシオリエビ



5. ヒゲナガチュウコシオリエビ



1. アカツノチュウ
コシオリエビ



2. ザラザラチュウ
コシオリエビ

5. コマチコシオリエビ



3. ヒゲツノチュウコシオリエビ



4. オオコシオリエビ

1. アカツノチュウコシオリエビ *Munida andamanica* Alcock, 1894 コシオリエビ科

甲長 16 mm。甲は左右に湾曲し、背面に多数の横溝があり、前縁に細毛が列生する。額角は棘状で、甲長の $\frac{1}{2}$ よりやや長くて上向きに曲がり、生時は基部が赤い。眼上棘は額角の $\frac{1}{2}$ の長さで、眼の先端にとどく。眼上棘の後方胃域前縁には左右 1 対の短棘あり、なお両側に各 3~4 微棘が列生する。甲の前側縁に 7 棘がある。鉗脚は太く短くて、雌では甲長の 2.3 倍の長さ。各節の内外両側縁と正中線上に棘列があり、内側縁と末縁には長棘がある。指部は掌部より短く、先端は交叉する。歩脚 3 対は扁平で、各節の上縁に長毛が列生する。第 1・第 2 対の長節上縁に棘列があり、後縁末端に 1 鋭棘があるが、第 3 対の長節にはない。指節は前節よりやや短く、下縁に微棘が列生し、先端が鋭くて下方に曲がる。腹部第 2 節の前縁に 7~8 棘が列生する。水深 180~800 m に生息。相模湾~九州沿岸；アングマン諸島・スマトラ・ジャワ・アラビア海・アフリカ東部沿岸に分布。土佐湾足摺岬沖水深 500 m 産雄 No. 771。

2. ザラザラチュウコシオリエビ *Munida scabra* Henderson, 1885 コシオリエビ科

甲長 12 mm。甲はやや扁平で、甲背に多数の棘と短毛があり、横しわは鰓域にみられる。額角はくさび形で正中稜があり、眼柄よりもすこし短い。眼上棘は額角の $\frac{1}{2}$ に達しない。頸溝・心鰓溝は浅いが区別ができる。胃域・心域には多数の短棘が散在するが、両域の中央に各 1 棘、眼上棘後方の鰓域上の 2 棘はやや大きい。また鰓域中央に縦走する 1 条の 5 棘列は顕著にみられる。甲側縁には短棘が不規則に列生する。鉗脚は左右相称で細長く、甲長の 4.3 倍の長さがあり、長節・腕節・掌部の順に短くなり、内縁 8, 5, 4 棘が粗生する。指部は掌部より短く、不動指の咬合縁に 4 小歯があり、指間にすきまがない。歩脚は側扁し、長節は前節より長く、長節・腕節の前縁に棘が列生する。指節は前節の $\frac{1}{2}$ の長さで、前縁に長毛が列生する。甲の後縁に左右各 8~9 棘が列生する。腹部第 2~第 3 節には中央に前後 2 対、第 4 節には前に 1 対、後に 1 棘がある。水深 100~393 m の小石、砂泥、貝殻底に生息。犬吠崎~九州沿岸；朝鮮海峡・東シナ海・ボルネオ海・カイ諸島沿岸に分布。抱卵期 3~4 月、6 月。鹿児島県甕島東方水深 300~350 m 雄、No. 571。左側鰓域の膨出は寄生性等脚類ヤドリムシが鰓室内に寄生しているため。

3. ヒゲツノチュウコシオリエビ *Munida pilorhyncha* Miyake & Baba, 1966

コシオリエビ科

甲長 22 mm (額角をふくむ)。甲幅 12 mm。額角はやや側扁して棘状、前半部は下方に傾き、背側に長剛毛が密生する(和名の由来)。眼上棘は細くて先は眼の先端にとどき、背側に短剛毛が粗生する。甲長は甲幅の 2 倍よりすこし短い、他種よりも細長い。甲背は左右に湾曲し、頸溝が明らかに認められ、多数の横溝も明らかに隆起して前縁に細毛が列生する。胃域の前縁に 10 棘が列生し、眼上棘後方の 1 対はやや大きい。前鰓域に 2 棘が前後にあり、いずれも頸溝の直後にあり、後棘は頸溝と不明瞭な心鰓溝との交点にある。甲側縁に 7 棘が列生、前 2 棘は頸溝の前方にあり、第 1 棘は前側角棘となり他棘より大きい。鉗脚はやや扁平で左右ほぼ同長で甲長の 2.6 倍の長さがあり、棘毛におおわれる。長節・腕

第 50 図版

節には内縁に 1 条、背面に 2 条の棘列があり、内縁の各 2 棘は大きい。掌部は指部よりやや長く、背面に 3 条、内外縁に各 1 条の棘列がある。指部背面に各 1 条、不動指外縁に 1 条の棘列がある。歩脚 3 対は側扁し、第 1 対が最長、第 2 対はやや短く、第 3 対は第 1 対の $\frac{1}{2}$ の長さ。第 1・第 2 対の長節上下縁、腕節の上縁に棘列があり、第 3 対にはない。前節・指節の下縁には 3 対ともに短棘が列生する。各節の上縁に長剛毛が列生する。第 2 腹節前縁に 8~9 棘がある。第 1 触角の前縁の内外角に各 1 長棘があり、背側外縁には 2 棘があり、前棘はことに長い。第 3 顎角長節の内縁に 2 棘あり、後棘は太く長い。水深 200~300 m に生息。土佐湾・薩摩半島西岸に分布。鹿児島県青瀬沖 4,000 m、水深 300 m 産雄 No. 592。

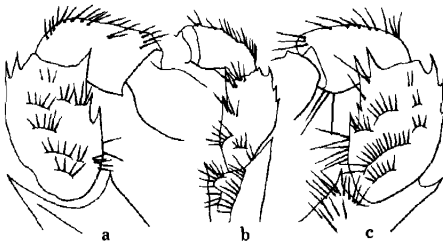
4. オオコシオリエビ *Cervimunida princeps* Benedict, 1902 コシオリエビ科

甲長 40 mm。額角は甲長の約 $\frac{1}{2}$ の長さで背面からは単一の長棘にみえるが、下方につよく湾曲し、背側中央に 2 個の大棘、その前方に 2~3 小棘、腹側先端に近く 1 個の大棘がある。眼上棘は斜上方に突出し、眼孔後部にほぼ同大の 1 棘がある。甲背には短毛の密生する横条があり、前半部・前側縁に棘歯が発達し、胃域前縁に 7~9 棘、前鰓域には頸溝に近く 2 棘、甲の側縁に 5~6 棘がある。脚は扁平で短毛・短棘が密生する。鉗脚は雄は雌より長く甲長の 5 倍、雌では約 2 倍の長さがある。水深 76~430 m に生息し、金華山・山形沖~九州の両沿岸に分布。抱卵期 11~1 月。本属のゾエア幼生は 4 期または 5 期(Gore, 1979)。産地では食用として市場で販売される。鹿児島県甑島東方水深 300~350 m 産雄 No. 568。

5. コマチコシオリエビ *Allogalatea elegans* (Adams & White, 1848)

コシオリエビ科

甲長 6.5 mm。額角は甲長のほぼ $\frac{1}{2}$ の長さがあり、側縁に 5~9 棘をそなえる。甲の側縁に 8~9 棘がある。額角・甲背に横縞があり、その前縁に短毛が密生する。第 1 触角の基部に 3 棘、第 3 顎角長脚の外縁に 2~3 棘、内縁に 2~4 棘がある。脚には全面に棘毛がある。鉗脚はやや扁平で甲長の 1.5 倍よりも長い。第 2~第 4 脚の長節前縁に 11~14 棘、腕



コマチコシオリエビの第 3 顎脚の内縁に発達する棘の変異

- a. 内縁 3, 外縁 2 棘, b. 内縁 2, 外縁 3 棘,
c. 内縁 4, 外縁 3 棘, (三宅原図)。

節前縁に 7~8 棘がある。ウミシダ類に付着共棲し、一宿主に雌雄 1 対が共棲することが多い。生時は宿主と同色の暗紫色と淡黄茶色の縦縞模様を呈する。その斑紋は個体によりかなりの変異がある。干潮線下~水深 120 m に生息。相模湾~九州・小笠原諸島; 東シナ海・フィリピン・ボルネオ・バング海・南アフリカ沿岸に分布。抱卵期 6~7 月, 3 月。南紀南部水深 45 m 産雄 No. 687。